

## 第4次国有林野事業流域管理推進アクションプログラム (胆振東部流域)

### 1 流域の特色(国有林 63千ha、民有林 100千ha)

本流域は、北海道の南西部に位置し、全国森林計画で定める沙流川広域流域の西側に広がる胆振総合振興局管内の国有林を管理している。

当流域の北西には樽前山やオロフレ山、北東に夕張山地が連なり、樽前山麓から緩やかな地形が勇払平野へ広がっている。また、国有林を水源とする勇払川、白老川、鷓川などが太平洋に注いでいる。

気候は、全般的に臨海性で一部海霧の発生や冷涼な地域を含むが、比較的温暖な気候となっている。

苫小牧市をはじめ管内市町(白老町、むかわ町)の水源林として利用されているほか、ポロト自然休養林、口無風景林などアクセスの良い森林レクリエーションエリアがある。また、火山地域(樽前山)における防災対策・公益的機能の発揮が期待される森林地域である。

農業は、冬温暖、夏冷涼な気候を生かして、むかわ地区で水稲、野菜、酪農、畜産のほか穂別メロンが栽培され多様な農業が展開されているほか、白老地区は日高地区に次ぐ規模の軽種馬の生産地であり、白老牛の生産にも力を入れている。

漁業は、スケトウダラ、サケ、ホッキ貝漁などの沿岸漁業が盛んで、特に鷓川地区で捕れるシシャモは全国的に有名である。

工業は、道内有数の工業都市である苫小牧市を中心に、石油精製、紙、パルプ、自動車部品、鉄鋼などの大規模事業所が多く存在する。

国有林の森林面積(63千ha)の約4割は人工林となっており苫小牧市を中心に広がっているが、平成16年9月の台風18号により多大な風倒木被害を受け、現在その復旧に全力を挙げて取り組んでいる。

### 2 流域内で優先的に取り組むべき課題

#### (1) ボランティア団体等と連携した森林整備

平成16年の台風被害跡地の復旧を進めるため、企業やボランティア団体、NPO法人等の協力による森林整備を積極的に推進する必要がある。

#### (2) 効率的な作業システムによる事業の展開

高性能林業機械に対応した路網を整備することで低コスト高効率作業システムを推進する必要がある。

#### (3) 森林環境教育、上下流の連携強化等の取組

地球温暖化防止に対する意識の高まりとともに、ボランティアによる森林づくり

等の要請が増えており、森林のふれあい活動、体験林業活動等を通じた森林・林業に関する普及啓発等を進める必要がある。

また、これまで進めてきた、バットの森づくり、お魚を殖やす森づくり、木の文化を支える森づくり等に取り組む必要がある。

#### (4) 森林・林業の効果的な普及啓発活動及び林業技術の向上

流域の森林・林業の情報発信としてホームページ等を活用するとともに、地元自治体やマスコミ等への情報発信など、森林・林業の普及啓発を図る必要がある。

また、林業技術や森林整備等の取組について、関係行政機関や業界等と情報の共有化を図る必要がある。

### 3 国有林野事業に対する流域内のニーズ・要望

胆振東部流域における国有林に対するニーズや要望を把握するため、公共機関（支庁、各市町、教育機関）及び林業関係者、NPO法人、ボランティア団体等にアンケート調査等により、平成21年1月から2月にかけて意見聴取したところ、ニーズ・要望等が以下のとおり93件（複数回答）寄せられた。

なお、要望等は内容により、計画的な木材供給の推進、森林施業の効率化・共通化等の取組、林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成、安全・安心への取組、生物多様性保全に配慮した取組の推進、上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等、その他に区分した。

#### 計画的な木材供給の推進

- ・間伐材及び低質材の有効利用を図るためシステム販売等安定的な供給の確保
- ・市場動向に応じた採材、木質バイオマスとしての需要拡大や未利用材の有効活用
- ・伐採や造林等の森林整備の推進について安定的、計画的な実施 外

#### 森林施業の効率化・共通化等の取組

- ・施業検討会や意見交換会等、情報交換や共有化できる場の設定
- ・森林施業に関心のある民間団体等に対する研修会等による人材育成
- ・林業事業体育成のための事業量の安定確保として複数年にまたがる事業発注の検討
- ・高性能林業機械導入のための取組について積極的な推進
- ・効率化のため小流域単位に施業を集中する取組の推進 外

#### 林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成

- ・新しい機械の開発及び新技術について推進するとともに、安全を含め行政機関や業界への講習会の実施
- ・緑の雇用対策へのフィールド提供の検討
- ・優秀な労働力確保の観点から入札制度の見直し要望 外

### 安全・安心への取組

- ・河川上流部としての水源林について、土砂等による水質汚濁防止施策の推進
- ・地域住民への森林の持つ防災機能等の情報について勉強会、シンポジウム等の実施やホームページ、パンフレット等により広く情報発信
- ・計画的な森林保全事業の実施と行政機関との情報の共有化 外

### 生物多様性保全に配慮した取組の推進

- ・生物多様性保全のための各種勉強会等の実施
- ・生物多様性確保のため針広混交林、広葉樹林化の推進
- ・エゾシカ等鳥獣被害対策の推進
- ・稀少野生生物情報の把握のための写真や特徴等の情報発信
- ・モニタリング調査へのボランティアの活用 外

### 上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、体験林業活動等

- ・ボランティア等民間団体による森林整備等の推進のためフィールド提供
- ・森林環境教育や体験林業活動等の実施
- ・上流から下流へのPR活動の推進 外

### その他

- ・国有林を見るだけでなく体験したり参加型のイベント等の企画
- ・学校教育の場としての活用の推進
- ・ボランティア団体、民間団体等との協力による森林整備の推進
- ・古い標識類の刷新
- ・雇用の確保の場として期待している
- ・天然林を大切に管理 外

## 4 国有林野事業が率先して行う取組

### 計画的な木材供給の推進

#### ア) 目標

- ・間伐材の利用促進及びシステム販売の推進
- ・未利用材利用等木質バイオマス資源の需要拡大に資する取組

#### イ) 連携・協力機関

- ・森林・林業活性化センター、木材協会、関係業界、森づくりセンター、市町村等

#### ウ) 取組方向

- ・公共事業等における間伐材利用促進に向けたPR活動の取組
- ・安定供給システムによる安定的・計画的な木材供給の取組
- ・木質バイオマス資源の需要拡大に応じた林地残材等の活用に向けた取組

## 森林施業の効率化・共通化等の取組

### ア) 目標

- ・低コスト高効率作業システムの推進
- ・森林整備協定締結等による森林共同施業団地設定の推進

### イ) 連携・協力機関

- ・森林・林業活性化センター、森づくりセンター、市町村、関係業界、森林組合、教育機関、試験研究機関、NPO法人及びボランティア団体等

### ウ) 取組方向

- ・森林整備協定締結等による森林共同施業団地設定の取組
- ・低コスト高効率作業システムの確立に向けた民国連携の現地検討会等の開催
- ・低コストで崩れにくい作業道などを主体とした路網整備の取組

## 林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成

### ア) 目標

- ・林業技術の普及・啓発の推進
- ・緑の雇用等への協力

### イ) 連携・協力機関

- ・森林・林業活性化センター、市町村、関係業界、森林組合、試験研究機関等

### ウ) 取組方向

- ・高性能林業機械の活用に向けた勉強会等の実施
- ・緑の雇用対策のためのフィールド確保と情報発信
- ・低コスト高効率作業システムの推進
- ・施業モデル林設定の取組

## 安全・安心への取組

### ア) 目標

- ・民国が連携した防災活動及び治山事業の展開

### イ) 連携・協力機関

- ・市町村、関係機関、研究機関等

### ウ) 取組方向

- ・砂防治山連絡調整会議への参加
- ・樽前山の火山噴火対策の協議会等において情報の発信と共有化
- ・市民防災講座等による治山事業のPR

## 生物多様性保全に配慮した取組の推進

### ア) 目標

- ・多様な森づくりを推進することによる生物多様性保全の推進及び情報収集
- ・エゾシカ対策の推進

### イ) 連携・協力機関

- ・森づくりセンター、市町村、関係業界、森林組合、教育機関、試験研究機関、

NPO法人及びボランティア団体等

ウ) 取組方向

- ・ 風倒被害跡地において、多様な樹冠層を有する森づくりを目指した施業の検証
  - ・ データ収集の取組
- ・ 生物多様性保全のための勉強会等の実施
- ・ 野生生物の写真収集を進め、様々な機会での情報発信
- ・ 稀少野生生物に対する森林施業上の調整の定着
- ・ エゾシカ等鳥獣被害情報の収集と対策の実施

上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等

ア) 目標

- ・ 教育関係機関と連携した森林環境教育の推進
- ・ 企業のCSR(社会的責任)活動・ボランティアによる体験林業活動等の支援

イ) 連携・協力機関

- ・ 森づくりセンター、市町村等、関係業界、森林組合、教育機関、NPO法人及びボランティア団体等

ウ) 取組方向

- ・ 市民講座等の実施による情報発信
- ・ 教育機関との連携による森林教室、体験林業の実施
- ・ NPO法人及びボランティア団体との共催による森林整備、体験林業、森林レクリエーション活動の実施
- ・ 上下流住民参加によるお魚の森づくり活動の推進
- ・ 風倒被害地の復旧箇所における企業のCSR活動の支援
- ・ アイヌ文化の継承のための国有林を活用した支援の取組
- ・ 各種イベント等の実施についてマスコミや市町村広報の活用による情報発信

流域名・流域番号	胆振東部流域(002)	担当部署	胆振東部森林管理署
計画期間	平成22年4月1日～平成25年3月31日		